

名寄市洪水ハザードマップ を確認しましょう

今年の天候は、今まで経験したことのない大雨により本州地方では、洪水・土砂災害による甚大な被害が発生しました。当市は平成22年7月、水害による避難勧告を発令、また平成18年10月、名寄川の水位がはん濫危険水位まで達しました。

今一度ご家族で、名寄市洪水ハザードマップをみて、居住している浸水深、避難所および避難所までの避難経路を確認しましょう。



①浸水深を確認しましょう

※浸水深 … 洪水などによって市街地や家屋・田畑が浸水する際の水面から地面までの深さ。

- ・私が住んでいる所の浸水深は、何mかな。

名寄市洪水ハザードマップの下段に浸水深・浸水の目安を記載しています。

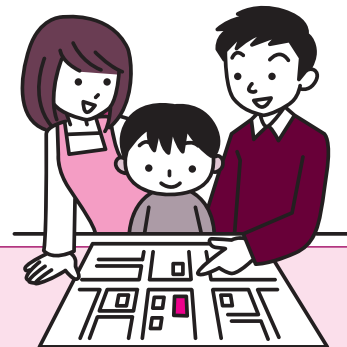
②避難所を確認しましょう

- ・町内会の避難所は、どこかな。
- ・避難勧告は、町内会連絡網や広報車、FMラジオなどでお知らせします。

名寄市洪水ハザードマップの右側に避難所名・避難所対象町内会を記載しています。

③最良な避難経路を確認しましょう

- ・まずはハザードマップで避難経路選定、その際、一番近い浸水深0m地域を第一目標（この地域で一時避難・身の確保）に選定し、そこから避難所に向かう経路を決めて実際に歩いてみて再確認しましょう。



例えば…

天塩川沿いの町内会で避難所が名寄高校の場合

- ①大通（浸水深0m）を目標に、一時避難
- ②身を確保し、その後、避難所に向かいます。

災害時要援護者支援事業について

市では、災害時に自力で避難することが困難な災害時要援護者の方々から名簿登録の申請をしていただき、地域の支援組織に名簿を提供し、地域において避難支援体制づくりを行う「災害時要援護者支援事業」の取り組みを行っていきます。

広報なよろ10月号折込の別冊「災害時要援護者支援事業」を確認いただき「名寄市災害時要援護者登録申請書」に必要事項（記載例を参考に）を記入のうえ、登録申請してください。